

「原発ゼロ」「再エネ100」に向け、国会で開かれた議論を!

第104回 国会エネルギー調査会(準備会)

電力市場(価格)で今、何が起きているか ～原発のコストを問う～

5月16日、政府は物価問題に関する閣僚会議を開催し、大手電力7社の電気料金の値上げ申請が了承されました。値上げ幅は、各社平均、15%～39%となっています。他方で、経済産業省は今年4月の使用分から「再エネ賦課金」を平均的な家庭で月820円引き下げたほか、政府の負担軽減策により家庭向けで1kWh当たり7円が補助されています。家計の負担増などがすでに懸念されていた中で、7社のうち北陸、沖縄を除く5社では、去年11月分と比べて実際の負担は軽くなるとしています。果たしてどこまで実効性があるのでしょうか。

またこの間審議されていた“原発回帰”「GX脱炭素電源法」が4月27日に衆議院本会議で可決され、現在参議院で審議(※5月31日参・本会議可決)されています。本法案は、エネルギー逼迫の解消や原発を稼働させることで電気代が安くなるなどと標榜されていますが、廃炉や核のゴミ問題など、原子力にまつわるコストは増えていくばかりとしか言えません。

電力市場(価格)高騰下で、原発が本当にGX(脱炭素)を担うものであり、価格低減などに寄与しうるのかどうか、「原発のコスト」を海外のエネルギー政策と比較した上で、その問題点と課題について徹底討論します。

開催概要

日時：2023年6月6日(火) 16:00～18:00

場所：衆議院第一議員会館第4会議室(※ハイブリッド開催)

Zoom ミーティング ID：881 3748 1415 パスコード：784162

(<https://us06web.zoom.us/j/88137481415?pwd=MjdSRVY1UzB2alJibC9MSEtkSk5zUT09>)

主催：超党派議員連盟「原発ゼロ・再エネ100の会」/国会エネ調有識者チーム

出席者：国会議員(原発ゼロ・再エネ100の会メンバーはじめ関心をお持ちの皆様)

国会エネルギー調査会(準備会)有識者チームメンバー

プログラム

- ① 開会：冒頭挨拶
- ② 講演1：大島堅一氏(龍谷大学政策学部教授、原子力市民委員会座長)
- ③ 講演2：松久保肇氏(原子力資料情報室事務局長)
- ④ 説明：経済産業省(資源エネルギー庁)(質疑対応：原子力規制庁、東京電力)
- ⑤ 出席国会議員・有識者を交えた総合討議・質疑応答
- ⑥ 閉会

* ISEP YouTube チャンネルで配信しています→<http://www.youtube.com/user/ISEPJAPAN>

* 過去開催分の映像・配布資料も公開しています→<http://www.isep.or.jp/archives/library/5024>
<http://blog.livedoor.jp/gempatsu0/>

◆事務局連絡先 阿部知子衆議院議員事務所(原発ゼロ・再エネ100の会事務局)
Tel: 03-3508-7303 / Fax: 03-3508-3303 / E-mail: yokoyama@abetomoko.jp
認定NPO 法人環境エネルギー政策研究所(有識者チーム事務局)
Tel: 03-3355-2200 / Fax: 03-3355-2205 / E-mail: dohman_haruhiko@isep.or.jp
